

## 東京中会 礼拝状況アンケート結果 (2020年4月5日 更新)

〔1:新しく回答を頂いた教会はNo.を青文字にしています。  
2:前回3月30日から変更がある教会はNo.を青文字にし、修正部分を青文字にしています。〕

### アンケート内容

【質問1】 貴教会・伝道所の礼拝と諸集会についてお尋ねします。

①礼拝はどのようにおられますか。 ②聖餐は行っておられますか。 ③讃美歌は通常どおり歌っておられますか。 ④祈祷会や諸集会はどのようにおられますか。

【質問2】 会員や求道者にどのような影響が見られますか。

【質問3】 教会・伝道所としてお困りのことはありますか。

【質問4】 この事態に直面して、御教会・伝道所の祈りの課題をお知らせください。

(回答データ受付順)

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
1	茅ヶ崎東教会	3月29日より4月26日まで中止(その後も中止の可能性あり)	3月より中止。		全て中止。小会は定期、臨時を含めすべて当面の間メールやWeb会議で行うことも検討。	自主的に自宅隔離している者、自宅待機している者がいる。	3月に葬儀があり、教会で行った。今後どうするかが課題。	今後礼拝その他の集會が行われないなかで会員の心のケアをどうするか。
2	西経堂伝道所	時間を短くして行っている。体調不良の場合は無視をしない、礼拝中のマスク着用、前後左右の間隔を空ける、換気に心掛ける。	中止している。	29日から歌わないか短縮する予定。	休会			
3	湘南教会	通常通り行っています。着座は開けて、マスクして。入口で手を消毒して礼拝堂に入ります。牧師が説教時にマスクすべきかどうかは「？」です。司式者もマスクを外しますが。	3月、4月と行っていません。	歌っています。勿論マスクをして。	すべて中止していません。祈祷会は近隣の者のみで4月から十分な配慮をして再開します。	不安はあるが落ち着いている。高齢者、子ども、基礎疾患者、遠距離の方は欠席、通常より20名前後少ない。求道中の方がおり、礼拝出席、週日の牧師との対話、電話等で勉強中。切実に求めているので礼拝を中止できません。	長老たちと心を合わせて連絡を密にしています。	礼拝出席が困難な方々に宛てて、牧師が毎週「牧師室から」で、教会の様子、「先週の説教から」でメッセージの一部を全員に郵送。会えなくても、キリストの体の一部として繋がっていることを互いに確認し合い、励まし合っている。
4	大和教会	礼拝は継続。今後も中止の予定なし。受付に消毒液、会員は全員マスクを着用。礼拝後のコーヒー(紙コップ)と菓子の用意や止め、水分補給のためのお茶だけ用意。席は元々イスをひとつおき空けて座り60cmほどの間隔。	但し、パンはそれぞれ指が、触れない程度に一つ一つを離して、置いて、配餐。杯も、用意と配餐に細心の注意を払っている。	会堂内の換気にも気を配り、礼拝後は、窓を開けて空気を入れ替えを行っています	祈祷会は、予定通り。ただし、4月からは「学び」を止め、時間を短縮。イースター祝会および4月26日の牧師感謝会は、会食をしない。委員会の打ち合わせや作業は、風通しを良くした場所で、短時間で行う。	80代の元長老夫妻が大事をとって欠席している他は、出席者数に大幅な減少は見られません。	特になし	中会内の教会・伝道所がこの事態によって、礼拝・聖餐を止めることなく、霊的な命を保つことができるように。「試みにあわず、悪より救い出し給え」が、教会の祈りです。

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
5	横浜桐畑教会	礼拝は実施。なるべく座席を開ける。マスク着用。礼拝直後の換気	行わない	マスク着用のまま歌う	主日以外の集会は全て休止	礼拝出席人数は普段とあまり変化ない	現在は無いが、今後のことは心配。しかし主に委ねるしかない。	野宿生活者や外国籍住民(特に技能実習生)の健康が守られるように。
6	鶴見教会	時間的に少し簡潔にすることを心がけて、行っています。玄関での手指の消毒、マスクの着用、礼拝堂の上窓を開放しての換気に心がけています。座席は間隔をあけて座り、2階や階下ホールも利用します。イースター礼拝は2回に分けて行う予定です。	準備奉仕者の手袋、マスク、配餐者にマスク着用をお願いして行っています。4月第一主日と第二主日(イースター)の聖餐式については取りやめます。	一節全体の奏楽に続き、歌詞を交読(司会者1節、会衆2節…)オルガンの奏楽に合わせて歌詞を見て心で讃美しています。(3/29~)	祈禱会は会場の換気に気を付けてます。受難週祈禱会は1日だけ(午前中)とし、その後の4月中の祈禱会は休会。共同の飲食は取りやめ、諸集会は中止ないし延期。日曜学校は3月29日から休校しています。	3月に入って出席者は高齢者、自分や家族に病気を抱えている人、往復の公共交通機関に心配のある人など、礼拝出席を控えています。		礼拝の出席者も今は控えざるをえない人も、不安と緊張に満ちた日々の中で落ち着いた信仰生活ができるように。
7	浦和教会	3月29日~4月26日の5週間、対面礼拝を休止。礼拝は「浦和教会blog」にて日曜10時30分からライブ配信(YouTube配信)。全会員に問安ハガキ「浦和の信徒への手紙」を毎週郵送。アナログのみの会員も繋がっている実感を。	3月から中止にしています。	各曲2節まで。曲数は同じ(3月22日まで。29日以降は、讃美歌無しの説教と祈禱を中心としたWEB礼拝)	2月中旬から全ての集會を休止。定期小会は開催(遠距離長老はWEB会議で出席)。祈禱会に「ZOOM」「LINE」を使用したオンライン配信(双方向)を検討中。	献金額の極端な減少。当然ながら礼拝席上献金は無し。ゆうちょ銀行の振込用紙を送付し、協力を呼び掛けている。		「葬儀に関する緊急ガイドライン」を作成。基本は火葬のみを提案。終息(収束)後に記念会を提案。納骨式は屋外のため最少人数で実施。
8	仙台黒松教会	4月5日~26日の対面礼拝を中止する。礼拝堂で牧師が1人で司式・説教する(讃美歌は省略)。ウェブ配信(facebookライブ)を試みる。同時にボイスレコーダーで音声も録音し、礼拝全体(音声のみ)を教会HPにアップする。	3月~4月中止。	・歌わずに伴奏を聞くだけ(最初の1節のみ)。	4月中は祈り会中止。その他の集會(日曜学校、墓前祈り会)も中止。小会だけは5日、12日行う。会員への対応・配慮について協議。	対面礼拝の中止を小会で決定したが、同時に、会員の中で礼拝に出席を希望する方がいれば、出席してもよいこととした。	いつまでこの状況が続き、どのように終息するかが見通せないことが困難。	それぞれの場で主の恵みがあるように。一人一人が信仰を失わず、教会を建て上げるように。インターネットやSNSを通して御言を広く・深く分かち合う方法を、試行錯誤できるように。
9	多摩ニュータウン	通常通り。換気と手指の消毒に関しましては協力をお願いしています。ただし3月の昼食及び午後の集會は中止または延期。4月に関しては、委員会で検討するところ。	3月は行った。4/5,4/12(イースター)を中止しようと考えている。	通常通り	祈禱会は継続。日曜学校も継続(参加者は教師を除いて1名)。午後の集會と昼食の用意は中止または延期。	特になし。	ありません。	
10	上田教会	礼拝中に換気を行なう。前後の窓を数分間あける。	3月の聖晩餐は、トングを用いて配餐し、陪餐者の手のひらに落とす。その後、しばらく聖晩餐を休むことを公示した。	歌わない。奏樂者が三回繰り返すなかで、心で讃美。	祈禱会、諸集會は3月から全て休会とした。小会の時間を短縮するために「学び」を省いた。日曜学校教師会も「学び」を省いた。	来ることができる者は礼拝を捧げている。無理をしないことを訴えている。	現在の時点では特になし。	主の守りの内に各人がなすべき衛生対策に努力し、与えられた日毎のつとめ、継続的つとめを今までもどおりにはたすことができるように。世界中の医療問題、経済問題を打開するため主が正しい知恵を授けて下さるよう

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
11	大森教会	通常どおり行っている。	4月は見合わせ。その後は各月の小会で決定。大森では聖餐は毎月第三主日（クリスマス、イースター、ペンテコステはその日）。小会は第一主日	通常どおり歌っている。	祈禱会（午前）、聖書研究祈禱会（午後）、日曜学校は通常どおり。その他の集会は適宜判断（読書会〔第3土曜日午前〕は3月休会；入門講座〔第二主日礼拝後〕は通常どおり）。	それぞれ心配をしながら参加していることがわかるが、教会が慌てふためいては恐れと不安をおさめられない。現実を直視しながら、現実にもって乗り越えて行くもの、自分たちの神はこの現実をも支配しておられるという信仰がどこか薄れてしまい、神と現実とが切り離されてしまっている状況下神を礼拝しても仕方がないというこの世の思いに取り込まれてしまっているか心配である。	特にありません。ただ、礼拝を休止するという苦渋の決断を下さった教会・伝道所があることが少しずつ知られるようになり、それが独り歩きして、うちもやめようと思える者が出てこないか心配である。休止の決断をした教会・伝道所も、それを補うためにとられているのか、工夫と配慮がさまざまになされていること、また、配慮が足りないところである。	仕え合い、いたわり合う教会であり続けるように。向き合い、語り合い、励まし合うことを可能とするSNSなどの現代の手段（ツール）を持ち合わせていない者らへ、牧会的配慮が行き届くように。
12	稲田堤伝道所	いつもどおり	行わない					
13	福島伝道所	いつもどおり（福島市に感染者が出ておらず、いつも通りに行っている）	いつもどおり。		伝道所委員会も開催予定（議長：渡部静子）伝道局問安（小坂先生、野木先生）は中止。			
14	つくばひたち野	3月29日まで礼拝は通常どおり。説教者にはマスクをお願いしている。4月5日の礼拝は中止予定。イースター礼拝は思案中です。	4月の聖餐式はおこなわないことに決めました。	讃美歌は通常どおりですが、マスクをして歌っています。	3月8日から祈禱会と諸集会は中止しています。	水戸からJRを使用して来られる会員2名は、感染防止のため来られません。	引退教職に遠くから公共交通機関を使用してもらうのを避け、退職した山下廣先生が説教奉仕。山、今後の説教奉仕者を迷っている。	神の言葉を述べ伝える礼拝を中止することになり、断腸の思いです。聖日の礼拝を行える日が1日でも早く来るように祈ってください。
15	宇都宮松原	現在は通常通り。2月の大会議長書簡の注意事項を週報に掲載し、次週には、小会からの文書を作成・配布した。持病のある方、高齢者は礼拝出席を見合わせるように勧められています。	行っています。ただ、準備時と配餐時の消毒を慎重に。	通常通り。	礼拝後のグループによる祈り会は中止。週日の祈り会は少人数のため通常通り。地区の超教派の集会は延期。集会時の食事会も見合わせ。	高齢者と基礎疾患を持つ人は礼拝を休んでいます。	礼拝欠席者にどのように福音を届け、牧会していくのか、また、施設入居の高齢者を訪問できないこと。いつ収束するか見通しが立たないので、行事予定が立てられないこと。	一日も早く収束して欲しい。感染者とその家族のために。過度に不安や思い煩いとらわれないために。
16	小平教会	3月22日までは、時間を少し短くして、通常どおり行っていました。3月29日の礼拝は、27日（金）に中止することに決定、連絡網でお知らせしました。	3月1日は長老と相談の上行った。これからは未定。	通常どおり歌っていましたが、全員マスク着用しました。	祈禱会等日曜日以外の集会や面会日などすべて中止。日曜日の集会は行っていました。その際、茶菓子の提供を中止。	落ち着いて通常どおりの人が多いです。自粛して教会に来ないようになっている人もいました。		

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
17	恵泉伝道所	特に工夫はせず通常通りに行っています。	3月の聖餐は通常通り。4月以降の聖餐は要検討。	通常通り。	通常通り。	この状況がいつまで続くのか、先の見えない不安。		高齢の会員、老人ホームの会員が外出できず接触制限など、不安・ストレスの蓄積、健康への心配。
18	袋井愛野恵み	通常どおり。換気には気を付けています。(礼拝堂にはドアがありません)個人的には、マスク着用している方が増えました。	3月行いました。また4月も通常通り行う予定。通常前の聖餐桌に集まって牧師が手袋をつけて個人の手を渡す方法。次回からはやり方を工夫する必要があります。	定員60人の会堂に今は特に出席者が少なく10人前後。なるべくバラバラに座るようになっている。	祈禱会も3,4人ですが、マスクを着用している人もいます。			
19	府中中河原	3月29日から4月26日まで礼拝休止を決断した。						
20	柏木教会	3月29日以降、4月いっばいな共同礼拝休止。5月以降は未定。	4月は行なわない。	奏楽のみ。	週日の集会は中止。墓地礼・拝納骨式中止			危篤の方がいるが4月の葬儀は延期し、近親者のみの祈り会にする。
21	鎌倉栄光教会	3月8日～29日は礼拝を休止。牧師から礼拝休止中の主日の聖書日課と祈禱文を、連絡網を用い、メール・Fax・ハガキによって教会員に伝え、各々家庭での礼拝を奨めた。	行わなかった(3月1日)	通常7～8曲のところ、3曲に削減(3月1日)	主日礼拝後の諸集会(小会含む)は、3月1日以降、週日の諸集会は3月4日以降、休会。小会と執事会は、メール交換で行った。	礼拝休止が長期にわたり寂しいとの声。他教会への出席者もいる。連絡が行き届かず主日に来てしまう人も。市民社会への協力、という意味で礼拝自粛は概ね教会員の理解は得られている。一方礼拝を守る姿勢を貫くべきとの思いが投げかけられている。	4月以降の予定(受難週の集会、復活祭/イースター、教会学校の新体制、墓前礼拝等々)の見通しが立たないこと。	新型コロナウイルス感染によって亡くなった方々とその家族のために祈る。新型コロナウイルス感染による被害が一日も早く収束するよう。重苦しいこの世の情勢の中に生きる今こそ主の受難の意義をさぐりつつ、復活の希望に向かって、祈って過ごしたい。
22	荻窪北教会	3月22日(日)までは、換気や衛生上の注意をしながら、ほぼ通常の礼拝。3月29日(日)から4月26日(日)まで休止。説教要旨を教会員に郵送。	配餐者がビニール手袋をはめ、食パンではなく、既に小さく切ったものを使い、配餐者が取って渡す方法。グラスも使い捨てのプラ容器にして実施。今後は要協議。	讃美歌ごとに、一番だけオルガン奏楽。その後全てを交読文形式で読み上げる形式。	休止した集会もありますが、短い時間で行えるものは実施。	普段とあまり変わらず。29日(日)の礼拝休止に関して、礼拝を行っている教会への出席を希望する方もあったようです。	今のところ特になし。今後、礼拝休止が続くとすれば、どのような方法が考えられるのか、諸教会・伝道所の対策を参考にしたい。	差別や疎外、暴力的な行為が広まらないように。教会生活離れへと繋がらないように。世界中に広まる災いを主が治めて下さるように。
23	秋田教会	体調の悪い人は無理しない。換気をする。マスクをなるべく着用。アルコール消毒。椅子1本に二人の着席。礼拝終了後は速やかに帰宅。受難週祈禱会、イースター礼拝の聖餐式は行わない。祝会は行わない。	執行する。準備者は準備の直前に手洗い・アルコール消毒、マスクとナイロン手袋を着用。パン・葡萄酒は不足しないぎりぎりの数を準備し、盆の上での間隔をあける。	通常どおり歌う(できる限りマスクを着用して)	小会・執事会・祈り会は空間が広いラウンジで、短時間で行う。(婦人会・壮年会)は出席者が多いことから、当面休止。青年会、初心者の集い等はこれまでどおり行う。	今のところ影響は見られない。	今のところ特になし。	秋田教会に限った場合は、会員が守られますようにということ。

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
24	志木北伝道所	(3月29日時点)換気扇により換気をし、全員マスク着用で、家族以外は離れて座るようにして行なっている。ドアノブとトイレは集会の前後に消毒。換気扇は教会堂1階の空気を1時間に約7回入れ換える能力があります。説教の音声をホームページで聞くことができるようにした。	3月は聖餐の前後に器具のアルコール消毒を行なって、第一主日に行いました。4月第一主日は行わず、それ以降については未定です。	讃詠や頌栄は通常どおり歌い、説教前と説教後の讃美歌は1節だけ歌います。	(3月29日時点)祈祷会は、会場を集会室から礼拝堂に変更し、換気扇により換気をして、全員マスク着用で行っている。女性会等は休会。	高齢の教会員や高齢者や基礎疾患のある家族をもつ教会員の中に、礼拝出席を控える人がかなりいます。他方、熱心に礼拝出席を続ける客員や求道者がいます。	現在のところありませんが、今後の状況によっては、教会堂での主日礼拝と祈祷会を休止し、家庭礼拝にせざるをえないだろうと委員会で協議しています。	ウイルスのために苦しむ人々に主の御守りがありますように。困難な状況の中でも御言葉を宣べ伝え続けることができますように。
25	上溝伝道所	通常通り。礼拝者は会堂後部に各自離れて、着席するように心掛けている。	準備をする奉仕者は、通常より手洗いを十分にしている。	通常通り、歌っている。	出席者が少数のこともあり、通常通り、開催できている。	話題にはなるが、特段の影響はない。教会へは自転車利用のこともあり、集会出席には影響がない。	相模原市は感染多発地のため外出に注意している。市内の二つの中核病院、福祉事務所、横浜線相模原駅等に感染事例があり、緊張を強いられている。	相模原が更なる感染拡大の拠点地にならないように、と願っている。
26	東京中央	全体が1時間で終了するように工夫している。座席が密接しないよう1m以上空けている。消毒、手洗いが出来るように工夫している。	礼拝前後に用具の消毒をていねいに行なっている。	通常どおり。	通常どおり。	高齢者、遠距離出席者の出席が困難になっている。	マスク・消毒液の入手が困難。	一日も早く終わるように祈りを合わせている。高齢者が支えられるように。
27	静岡池田	礼拝者が少ない(10名前後)ですので通常どおりです。玄関に消毒液、始める前に机、その他にアルコール液の吹きつけを実施。	第一主日に行なっている。	通常どおり。	祈祷会は礼拝後1名の祈りで実施(月2回)。	特に影響はありませんが、新幹線で来られる婦人のご主人は控えるように要請されています。	無牧ですので、応援牧師の状況を心配しています。	遠方から電車で来られている会員の感染が心配です。
28	習志野教会	3月29日の礼拝後、臨時小会を開き、中会議長からの書簡を参考にし、4月のすべての主日礼拝、日曜学校を休止とすることといたしました。	3月は行っていたが、4月は主日礼拝そのものを休止することとしている。	マスクを掛けたまま歌っている。	定期の祈祷会は当分中止、婦人会、壮年会、青年会、イースターの祝会、墓前礼拝なども中止	出席人数が、50名代であったのが、30名代と落ち込んでいる。	礼拝に来られない教会員にどのように説教を届けるか。礼拝出席者が減ると、教会の財政に影響がある。	礼拝人数が元のよう回復するように。聖餐式の回復。祈祷会を初めとする諸集会ができるように。
29	横浜海岸教会	4月5日の礼拝を午前10時半からと午後2時からの2回に分けて行う(4月1日専門家会議発表の「感染拡大地域」の内容を参考に、50人以下の集会を目指し)。4月12日から、集まったの礼拝は当面中止。(礼拝中止の目安とする神奈川、東京の新感染者の増大数に4月4日に達したと判断し)	4月5日の礼拝まで実施。	3月半ばまで今まで通り。3月後半は一節のみ歌う。4月5日の礼拝では、オルガン演奏のみ、歌詞を心の中で思い巡らす。	日曜学校は、4月5日まで実施。4月12日から当面中止。祈祷会は4月1日まで通常通り。それ以後、当面中止。	高齢者、持病を持つ方は2月半ばから自主的に礼拝出席を控えられている。一方で、礼拝に熱心に出席し続けられる高齢者もあり(次項目参照)。3月後半から、平日出勤者が他の礼拝者に感染させないか、危惧増大。新来会者・求道者の礼拝出席は2月初めから激減。一方で熱心に出席し続けられる方もあり。	感染による命の危険を理由に礼拝を閉じるべきとの主張がなされる中で、高齢者の中には、「永遠の命の約束を信じ、いつ召されてもいいと思っているから、できるだけ礼拝に出たい」と思われている方が少なからずおられることを知らされた。しかし、それが施設の外出禁止や家族の思い、場合によっては教会内の「善意」からの	「休まればよかったら、礼拝せよ」という声掛けは、回復した命の約束を説くこと、礼拝中止の判断を下すことの難しさ、神学的な課題。 礼拝中止に入った教会の教会員一人一人の信仰生活社会生活が守られるように。

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
30	世田谷千歳	3月29日までは、礼拝中に10分の強制換気、ソーシャルディスタンスの確保、(強制ではないが)マスクは牧師も含めて着用、トイレの手ふきタオルの除去、手指のアルコール消毒、ドアノブ等の清掃を行い、礼拝堂が感染源にならないように注意した。3月29日は、礼拝出席は断じて不要不急の事柄ではないものの、意図せずにクラスターとなってしまう可能性を排除できず、地域社会に属する責任ある組織として今回の事態を考えた結果、大変残念ながら、休止とした。4月5日も休止も視野に入れ協議中。説教のまとめの配信、あるいはストリーミングでのライブ配信を行うことを準備。	濃厚接触になる可能性を排除できないとの判断から、3月から休止。	換気に気をつけつつ歌っている。	祈禱会は3月上旬から休会。小会・執事会は、換気と時間に留意しつつ開催しているが、メール等でやりとりできる情報は、全て事前に共有している。	3月2日からの突然の学校休校に加え、不要不急の外出を控える旨の要請が重なると、それらの情報と状況に翻弄され、疲れを感じる方が多くいる。また、キリスト者では無い家族との間で、礼拝出席に関する緊張がある方々もいる。海外へ行き来する必要がある複数の教会員は、予定変更をせざるを得ない状況。年配の教会員は、礼拝出席を自粛。大学生の求道者は、4月以降大学が立ち入り禁止になる影響を受け、地元へ帰省した。		命が脅かされ、不安と絶望にある人に必要な助けと備えとを与えてください。感染対策の最前線にいる人たちのために、予期できぬ危機を克服する力を与えてください。政治や法に携わる人が正義を求め、民の福祉に努めることができますように。主よ、平和をつくり出すすべての人を祝福してください。
31	磐田西教会	通常通り行っております。	行っております。	通常通り歌っています。	祈りの会は通常通り。4月中の諸集会は休会。また4月29日に予定されていた第54回静岡地区合同修養会を延期とした。	新型コロナウイルス感染症に留意して礼拝を欠席している方もおられます。	特にありません。会堂の入り口に消毒液を設置し、換気に注意しています。	皆さんが安心して礼拝にくることができるようになることを祈っております。
32	大宮東伝道所	通常通り行っています。入口に消毒薬を置き、換気に気をつけています。	3月には行いましたが、4月は中止することになりました。	通常通りに歌っています。	3月、4月の第一水曜祈禱会は中止。第三週の礼拝後の祈禱会は開催。聖書を学ぶ会、木曜日の求道者会は、3月は中止しました。	高齢者や電車を利用する会員が欠席のため出席者はいつもの半分以下。近隣の求道者がいること、祈りつつ普段通り出席する人もいますので、通常通り礼拝を行うことにしています。	一か月以上、休んでいる会員の牧会が課題。施設など面会禁止になっているため、訪問することができないことも。インターネットや音声配信の設備がない伝道所です。礼拝は変わらずに続けていく予定です。	高齢の会員、不安を覚えている会員が守られ、一日も早く、また礼拝に出席できるように。
33	東京主僕教会	3月29日から4月12日まで礼拝を休止(それ以降は改めて判断する)。礼拝を休止した日は、会員に家庭での可能な仕方での礼拝を勧めた。本来予定されていた礼拝説教などを教会HPに掲載。インターネットを利用できる環境にない会員には、日曜日までに前もってその日の礼拝の短い説教メッセージなどを郵送する。	今の状況では行いません。	奏楽を聴きながら、実際には声にだして歌わず、心の中で歌詞を味わい歌います。	4月は休会です。			

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
34	郡山伝道所	礼拝は、通常通り行っています。礼拝堂の前のアルコール消毒剤を用意してから礼拝堂に入るように促しています。	聖餐式は、通常通り行っています。	讃美歌は通常通り歌っています。	祈禱会は、礼拝前に行っていますので影響はありません。諸集会は、これまで食事を共にする機会がありましたが、コロナウイルスの影響が収まるまでは食事を共にすることは行わないこととしました。イースターの祝会は中止とし、聖餐式は行うこととしました。	小学生は、学校の休校措置がとられていたので、一部の小学生は礼拝に欠席しました。	大きな問題点は現在ありません。	不安と死を越える福音の力を心から信じ、語られるようになりますように。
35	南柏教会	4月中は礼拝を休止することを決め、「礼拝休止に関するお知らせ」を作成し、教会員、関係者88名に郵送した。教会員には、毎週土曜日までに届くように説教プリントを郵送し、礼拝の時間に共に祈りを合わせるよう呼びかけている。	3月1日は通常通り行った。	3月29日は、讃美歌一番のみを歌った。	3月から祈禱会、諸集会は中止している。	礼拝出席者が減った。施設に入居している会員が、外出を禁止されて寂しいおもいをしている。	今年度に予定している諸行事がどうなるのか見通せないこと。	不安と混乱の中にある世界の国々を主が顧みてくださるよう。一日も早く事態が収束し、共に礼拝に集うことができるように。独り暮らしの高齢者、施設入居者が精神的に孤立することのないように互いのことを覚えて祈りあう。家庭で過ごしている子どもたちの心身の健康が守られるように。
36	豊島北教会	時間を短縮して行っている。	3月第1週より行っていない。受難週祈禱会、イースター礼拝でも行わない予定。	1番のみを歌っている。	祈禱会・聖書を読む会、日曜学校は通常通り行っている。他の集会は休会。	公共交通機関を使用する会員の欠席、高齢者の欠席（家族の反対）が見られる。前年同月と比べて10名程度出席者が減少している。	会員の家族、地域への配慮。教会が反社会的な団体だとの誤解を与えることのないように。礼拝献金（おそらくイースター献金も）の減少	礼拝を守ることでできない会員の信仰が支えられ、守られ、練り清められるときとなるように。教会が信仰と教会の在り方を捉え直す機会となるように。
37	南浦和教会	礼拝中は窓やドアを開け、席の間隔をとり、小さな声で歌い、小さな声で祈っている。会衆同士の挨拶に代わり、司会者と会衆との間で平和の挨拶を行っている。礼拝後、必要と思われる箇所の消毒を行うことにした。(4月小会決議)	配餐者はマスクとナイロン手袋を着用し、パンは配餐者が渡す形で行った。(3月)飛沫感染と接触感染を可能なかぎり予防する方法で実施。準備は担当者の負担も考慮し、小会が行う。(4月小会決議)	1節のみを小さな声で歌っている。	祈禱会は時間短縮の工夫と換気に注意して実施。ただし司会者の事情によっては牧師が行う。諸集会はお休み。委員会は必要に応じて短時間で行う。日曜学校は「学校の再開」を目途に子どもたちの生活が落ち着くまで休校。ただし教師は朝9時に来て子どもの来会に備える。(3月29日臨時小会決議)	自らの体調や家庭のことを考え、礼拝出席を控える会員がいる。		神が自分たちに与えておられる恵みの事実をさらに深く理解し、信仰を成長させてくださるように。神が今の状況を収め、世界を憐れんでくださるように。

No.	教会名	質問1 ①礼拝	②聖餐式	③讃美歌	④諸集会	質問2 影響	質問3 困り事	質問4 課題
38	小山伝道所	通常通りに行っていますが、70人以上入れる礼拝堂に出席者は7~8人なので夫々の距離は充分取れています。会堂に入るとすぐ、プッシュ式の石鹸で手を洗ってから礼拝に臨むことにしています。アルコールが手に入り次第、設置します。換気は心掛けています。	3月には行いました。4月の第1週は、行わないことにしました。その後のことは状況を見てその都度話しあうことにしています。	通常通り歌っていますが、4月の礼拝では、1番だけを歌うことにしました。	小会議室で机を囲んでの祈り会を辞めて、礼拝後にそれぞれの席で、短く祈って終わりにしています。祈り会の後の交わり、団欒はやめました。差し入れがあった時には夫々が持ち帰っています。イースター礼拝は通常通り行いますが、祝会と墓前礼拝は中止する予定です。	外出自粛の要請があるまでは比較的冷静で決まったメンバーが来ていました。出席するかどうかは各自の判断に任せ、礼拝と委員会は、行う予定です。病気の求道者を訪ねて見舞うのは出来ていません。	車を運転して礼拝に出席出来る人は一人もおらず、公共の交通機関を使わざるを得ず、出席を躊躇します。今まで、家族が送ってくれていた人でも、家族が礼拝出席を見合わせると判断すれば本人は来たくても来られない立場です。パソコンを使える人もおらず、ネットによる礼拝などできません。	このような状況が一日も早く収まって、落ち着いて礼拝ができますように。世界中の国が、このウィルスから守られますように。
39	古河伝道所	急遽、4月中は礼拝を休止にすることを決め、連絡網で会員に通知した。						